

経済教育学会第33回全国大会のご案内

全体テーマ：なぜ経済教育に主体的学びが必要なのか—制度・理念と実践の接点を探る—

日時：2017年9月30日（土）～10月1日（日）

会場：富山大学経済学部

主催：経済教育学会

後援：富山県教育委員会 公益財団法人日本教育公務員弘済会

開催にあたって

大会実行委員長 新里泰孝（富山大学）

経済教育学会第33回全国大会を2017年9月30日（土）～10月1日（日）の両日に、富山大学五福キャンパスの経済学部で開催いたします。富山での大会は、1999年11月の第15回全国大会以来18年ぶりです。今回の全体テーマは「なぜ経済教育に主体的学びが必要なのか—制度・理念と実践の接点を探る—」です。

9月30日は全体テーマに関する基調講演とシンポジウムを開催します。佐々木隆生先生（北海道大学名誉教授）による基調講演を受けて、中村和之先生（富山大学経済学部長）および高橋勝也先生（東京都立武蔵高校・附属中学校主任教諭）、川合宏之先生（流通科学大学特任講師）の3名のパネリストを中心に討論します。10月1日は分科会を開催します。

近年、アクティブラーニングという言葉で話題になることが多い「主体的学び」の意義を、教育現場という空間に限るのではなく、生徒・学生の卒業後の人生、彼ら・彼女らをとりにくく社会などの観点も踏まえて、広い角度から見つめ直すことを目的としています。

本学会会員の中には、時代を先取りする形で対話型アクティブラーニングを推進してきた人もいますが、この状況の中、改めて従来型の教育の意義を再評価する主張もあります。経済教育という領域にふさわしい「主体的学び」とはどのようなものなのだろうか。それを追究することは本学会の重要課題であります。

大学での教育を展望して、高校と大学の接続と選抜（入試）のあり方に提言をしてきた佐々木隆生先生に基調講演をお願いしたのも上記の事情からです。本シンポジウムにおいて、経済学のみならず社会学、歴史学にも造詣が深い佐々木先生より、学際的視点も踏まえた講演をして頂きます。

本シンポジウムでは、責任ある市民として今後の社会を的確に担い、有意義な人生を送る人間育成という観点から、大学・高校の経済教育の今後のあるべき姿を追求してみようと考えています。活発な議論を期待いたします。

大会スケジュール

会場：富山大学経済学部

第1日（9月30日・土曜日）

11時00分～12時30分 理事会（7階 大会議室）

12時00分～ 受付（1階 正面玄関）

～13時00分 昼食（1階 108 演習室 109 演習室）

13時00分～16時45分 基調講演・シンポジウム（2階 201 講義室）

テーマ 「なぜ経済教育に主体的学びが必要なのか—制度・理念と実践の接点を探る—」

基調講演 佐々木隆生（北海道大学名誉教授）

パネリスト 中村和之（富山大学経済学部長）

高橋勝也（東京都立武蔵高校・附属中学校主任教諭）

川合宏之（流通科学大学特任講師）

司会 橋本勝（富山大学教育推進センター教授）

17時00分～17時45分 学会総会（2階 201 講義室）

18時00分～19時30分 懇親会（アザミ AZAMI：正門左手）

第2日（10月1日・日曜日）

9時30分～12時00分 分科会報告（午前の部）

1 経済基礎理論・経済概念(1)（2階 210 演習室）

2 金融・財政・税（2階 213 演習室）

3 新たな経済教育をめぐって（2階 214 演習室）

4 授業実践・教育方法(1)（2階 209 演習室）

5 コアプロジェクト(1)（1階 116 演習室）

6 韓国における経済教育（1階 110 演習室）

発表 25分・質疑応答 10分

司会 09：30～09：35

(1) 09：35～10：10

(2) 10：10～10：45

(3) 10：45～11：20

(4) 11：20～11：55

予備 11：55～12：10

12時00分～13時00分 理事会（7階 大会議室） 昼食（1階 108 演習室 109 演習室）

13時00分～15時00分 分科会報告（午後の部）

7 経済基礎理論・経済概念(2)（2階 210 演習室）

8 労働問題・キャリア教育（2階 213 演習室）

9 主体的な学び（2階 214 演習室）

10 授業実践・教育方法(2)（2階 209 演習室）

11 コアプロジェクト(2)（1階 116 演習室）

12 主権者教育（1階 110 演習室）

発表 25分・質疑応答 10分

司会 13：00～13：05

(1) 13：05～13：40

(2) 13：40～14：15

(3) 14：15～14：50

予備 14：50～15：00

15時00分～15時40分 研究倫理セミナー（7階 大会議室）

分科会プログラム

分科会名	発表者	所属	テーマ
第1分科会 経済基礎理論・経済概念(1) (2階 210 演習室) 座長 新井明 田中淳	(1)金子浩一	宮城大学	模擬取引を通じた経済事象の理解：中学・高校の学習内容と小学校での応用可能性
	(2)高橋勝也	東京都立武蔵高等学校附属中学校	「希少性」と「機会費用」を自ら考察する授業開発：「知のモデル化」理論を活用して
	(3)阿部哲久	広島大学附属中・高等学校	「競争」概念を広げる中学校公民的分野の授業開発
	(4)吉田昌幸 小林重人	上越教育大学 北陸先端科学技術大学院大学	「スマホ製造ゲーム」を使った機会費用の学習：中高生を対象とした実践を通じて
第2分科会 金融・財政・税 (2階 213 演習室) 座長 中谷武雄 河原和之	(1)田村徳至	信州大学	シミュレーション教材を活用した金融経済教育に関する実証的研究：理数系大学生に対する「直接・間接金融」に関する授業実践を通して
	(2)中村賢治	基礎経済科学研究所	マイナス金利下における投資教育の課題
	(3)金子幹夫	神奈川県立平塚農業高等学校初声分校	歴史教育における「税」の学習と経済教育における「税」の学習に関する一考察
	(4)佐々木謙一	北海道教育大学	租税教室の概要と課題
第3分科会 新たな経済教育をめぐって (2階 214 演習室) 座長 大坂洋 竹田英司	(1)松尾匡	立命館大学	総労働配分の観点からのマルクス経済学初級教育
	(2)吉田雅明	専修大学	マルクス経済学の新しい教育プラン：理論・歴史・貨幣
	(3)北野正一	兵庫県立大（名誉教授）	ヒトと社会の科学：入門テキスト
	(4)箕輪京四郎	元横浜商業高校	おカネについて高校生に教える
第4分科会 授業実践・教育方法(1) (2階 209 演習室) 座長 中里弘穂 猪瀬武則	(1)奥田修一郎	狭山市立南中学校	主体的かつ深い学びをうながす経済学習実践：討論と社会科通信を授業の核にすえて
	(2)安野雄一	大阪教育大学附属平野小学校	経済分野の事象を多面的に見つめるアクティブラーニングの構想：日本の財政に対する価値判断授業及び課題解決学習を通して
	(3)田中博章	愛知教育大学附属高等学校	高等学校公民科におけるアクティブ・ラーニングの授業実践：CS分析(ポートフォリオ分析)を用いて

	(4)秋田真	松本大学	公正について自発的に思考するロール・プレイングとジグソー法を用いた社会科授業実践
第5分科会 コアプロジェクト(1) (1階 116 演習室) 座長 八木紀一郎 塩田尚樹	(1)水野勝之 黒沢健人 廣瀬佑 柴田加菜子	明治大学 同商学部3年 同学部3年 同学部4年	学生版 CORE プロジェクトガイドブックの作成：学生の学生による学生のためのガイドブック
	(2)久井田直之	日本大学	CORE プロジェクトに対する経済教育学会の取り組み
	(3)松本朗	立命館大学	標準的（主流派）経済学カリキュラムに異議を唱える欧米の動向：世界連合が提案する経済学教育の代案
第6分科会 韓国における経済教育 (1階 110 演習室) 座長 裴光雄 阿部信太郎	(1) チョン・ヨンソン	誠信女子大学	北朝鮮離脱住民の金融社会化過程の物語研究
	(2)Kim Jin Young	江原大学	Teaching Economics and Changes in Economic Theory and Economic Issues
	(3)金景模	慶尚大学	韓国と日本の改正経済教育課程の比較研究
第7分科会 経済基礎理論・経済概念(2) (2階 210 演習室) 座長 松尾匡 八木尚志	(1)裴光雄 乾真佐子 奥田修一郎 関本祐希	大阪教育大学 八尾市立曙川南中学校 大阪狭山市立南中学校 大阪府立交野支援学校四條躰校	中学生対象の経済概念に関するテスト結果とその分析
	(2)新井明	上智大学（非常勤講師）	機会費用の教育性・再々考：アメリカにおける広がりとは日本への波及
	(3)何峰 山岡道男 阿部信太郎	早稲田大学大学院生 早稲田大学 城西国際大学	高校生の経済リテラシーに関する日中比較研究：TEL4の結果を中心に
第8分科会 労働問題・キャリア教育 (2階 213 演習室) 座長 川合宏之 小柳津英知	(1)田中淳	東京都立産業技術高等専門学校	高等専門学校の一般教育としての経営管理論の授業
	(2)中里弘穂	福井県立大学	地方企業での女性人材の活用とキャリア形成
	(3)中嶋剛	千葉経済大学	大学生等のブラックバイトの現状と課題

第 9 分科会 主体的な学び (2 階 214 演習室) 座長 高橋勝也 宇佐美善尚	(1)河原和之	立命館大学	エシカルに世界と日本の未来を考える経済の授業：「何がわかる」「何を知る」から「何ができるか」へ
	(2)唐澤克樹	倉敷市立短期大学	服飾・芸術系短期大学における地域への関心を高める取り組み
	(3)越田年彦	めぐろシティカレッジ・慶応義塾大学（非常勤講師）	ピケティ経済学説の読解授業：『21世紀の資本論』のポイントをめぐって
第 10 分科会 授業実践・教育方法(2) (2 階 209 演習室) 座長 齋藤哲也 井草剛	(1)竹田英司 井草剛	松山短期大学 松山大学	能動的学修を取り入れた授業開発の取り組みと成果：「主体的学び」の追求
	(2)金子能呼	松本大学松商短期大学部	短期大学におけるコンピテンスの育成とその評価について
	(3)小川健	専修大学	続・スキャナで読めるマークシートを活用した小テスト通過型単位認定方式：通過型単位認定は大規模人数講義に対応可能か
第 11 分科会 コアプロジェクト(2) (1 階 116 演習室) 座長 水野勝之 久井田直之	(1)宮下春樹	筑波大学	Core project・第 4 章ガイドラインの作成過程と課題改善方法のディスカッション：初学者の視点に立ったゲーム理論入門テキスト
	(2)塩田尚樹	獨協大学	Core-econ UNIT20：Economics of the environment の概要と利用可能性
	(3)新里泰孝	富山大学	Core プロジェクトのゼミでの活用事例：富山大学の場合
第 12 分科会 主権者教育 (1 階 110 演習室) 座長 橋本勝 山根栄次	(1)石田尚子	三重大学大学院生	少子化時代における子どもへの経済教育の一考察
	(2)坂爪邦雄	東久留米市立久留米中学校	憲法学習と結びつく中学校公民経済学習のプランと実践
	(3)猪瀬武則 山根栄次 栗原久 宮原悟 高橋桂子 服部一秀 小貫篤	日本体育大学 三重大学 東洋大学 名古屋女子大学 実践女子大学 山梨大学 筑波大附属駒場中・高等学校	18 歳選挙権時代の経済理解調査：報告と検討

研究倫理セミナー

開催時期：全国大会 2 日目（10 月 1 日）の分科会終了後 15:00~15:40

会 場：経済学部 7 階 大会議室

内 容：投稿者へ論文作成時の引用方法等の諸注意や著作権関係の問題について、大学で学生に指導している先生と査読経験者からの注意点やよりよい論文作成のアドバイスを行う。
J-STAGE 登載に向けて、研究倫理の意識を高めることを目的とする。

司 会 者：高橋勝也（現学会誌編集委員長）

発 表 者：15:00-15:20 垣田直樹（富山大学経済学部教授）

15:20-15:40 田中淳（前学会誌編集委員長・現学会誌編集委員）

アクセス

富山駅より市電終点大学前（約 12 分）・徒歩 3 分。富山駅 3 番乗り場よりバスで約 10 分（富山大学前）・徒歩 1 分。

参加申し込み

参加をご希望の方は 2017 年 9 月 15 日（金）までにお申し込みください。参加費は 2 日間とも無料です。

申込方法：経済教育学会のホームページ <http://www.ecoedu.jp> から下記の必要事項を入力して下さい。受付は 8 月下旬から行います。

必要事項：参加者氏名・所属・連絡先（郵便番号、住所、氏名、電話番号、ファックス番号、電子メールアドレス）、会員・非会員の別、懇親会（会費 4,000 円）の出・欠、昼食（10 月 1 日、弁当 1,000 円）の要・不要。

お問い合わせ

郵便番号 930-8555 富山県富山市五福 3190 富山大学経済学部 新里泰孝研究室気付

Tel : 076-445-6424, Fax : 076-445-6419, Email (大会用) : niisato@ems.u-toyama.ac.jp

経済教育学会第 33 回全国大会実行委員会

新里泰孝, 橋本勝, 小柳津英知, 大坂洋, 龍世祥, 根岸秀行, 金奉吉 (以上富山大学)

横田数弘, 長谷川博 (以上富山高等専門学校)

端野純江 (富山県立大学)

竹田達矢 (不動産鑑定士・元高岡法科大学)